

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	769-8299
部 名	市民部	課 名	市民相談課	課長名	小野 栄治
事務事業名	市内施設めぐり				
予算上の事務事業名	市内施設めぐり				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第1施策 個性豊かな地域づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市広報広聴規則 市内施設めぐり実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	調査・研究				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
市民が市内の施設を見学することにより、施設に関する知識や運営方法等の理解を深めるとともに、市の現状や将来についての関心を高め、その声を市政に活かすことを目的とする。				3歳以上の市民	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
実施期間	5月～12月 (8月は除く)				
実施回数	44回 (団体30回、個人14回)				
参加者数	882人				
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体においても同様の事業は実施している。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	657	77	122	319	319
一般財源	657	77	122	319	319
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,106	2,121	2,832	2,108	2,108
事業コスト合計	2,763	2,198	2,954	2,427	2,427
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	市内施設めぐり			対象名称 と単位	実施回数 (回)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,763	2,198	2,954	2,427	2,427
対象数	43	39	44	40	40
単位あたり経費(円)	64,256	56,359	67,136	60,675	60,675
前年度比		0.88	1.19	0.90	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実施回数（回）	指標式と指標の説明	実施回数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	43.0	39.0	44.0		
目標	42.0	42.0	42.0	40.0	40.0
目標達成度（%）	102.4	92.9	104.8		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者人数（人）	指標式と指標の説明	参加者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	881.0	782.0	882.0		
目標	986.0	986.0	986.0	940.0	940.0
目標達成度（%）	89.4	79.3	89.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		この事業は市民のニーズが高いが、市民の声が市政に十分活かされていない部分もあり、方法等について検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
広聴事業として各施設等への意見を聴取するため、効果的なアンケートの実施や施設めぐりの趣旨の徹底を図る。			広聴事業として十分な意見聴取が難しく、観光事業との明確な区分が必要である。 また、団体対象の施設めぐりについては、リピーターも多い。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		実施回数の整理、受益者負担の視点で、効果的な事業実施方法を推進する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			